

データライブ株式会社

保守切れサーバは"捨てる"から"買取"へ

▶ メーカー保守切れIT機器の再利用 「リユースサーバ」のデータライブ

世界の環境活動で広く認知されている「Mottainai」の合言葉。データライブ株式会社(東京都文京区)は、この日本に根付いている「もったいない」の環境思想を日本のIT投資に根付かせようとしている。欧米では終息へ向かうIT機器は、廃棄せずに保守サービスを組み替えて延伸し再利用しているとの背景がある。今から10年以上前、いち早くそうした海外の動向に着目した同社は、次の10年に向けてMottainaiを基本思想に据え、メーカー保守切れシステムの保守延伸サービスを始め、さらには中古IT機器の買い取りによって、新たなIT投資の最適化を提唱。欧米やアジア諸国からも注目を集めている。

入れるだけで、ゴミとなるIT資源の削減(Reduce)、再利用(Reuse)、そして最終的にはIT部品の再資源化(Recycle)にも大きく貢献することとなる。この「3R」こそ、Mottainaiの環境思想そのものだ。

また、不要となったサーバなどを買い取りに回すという取り組みは、いままでお世話になったIT機器に次の使命を与えるもので、企業の敬意(Respect)を感じさせる社会的な行為といえるだろう。



山田社長(右)と阿部本部長

長期運用を担保する 持続可能な仕組みがない日本

欧米では、10年以上前からメーカーの保守契約が切れたサーバやネットワーク機器の再利用が進められてきた。現在では、その国を代表する企業や政府機関でさえも、中古サーバを導入し、メーカー以外の第三者機関による保守に依頼し、運用しているケースも珍しくない。

一方、多くの日本の企業では、メーカーの保守期間が切れると、ほとんどのIT機器を資源ゴミとして廃棄しているのが実情だ。しかし、製造業や医療機関などでは10年~15年と、メーカーの保守契約以上の長期運用を望む声が多い。

にもかかわらず日本のIT機器の投資においては、欧米のような長期運用を担保する持続可能なソリューションが認知されていない。IT投資の最適化の選択肢や仕組みに、中古機器の再利用がまだまだ組み込まれていないのが現状だ。

データライブは今では中古サーバの専門業者として一定の知名度を誇るが、2003年に創業した当時、山田和人社長は、「うちの大切なデータを中古のサーバに任せるとはいか

い」と言われたこともあったという。そんななかで、「日本は『世界一品質に厳しい市場』であり、その中でお客様と共にクリエイティブなサービスを構築してきた」のが同社だった。

IT機器の廃棄は、二重で投資のムダを招く

スマートフォンを筆頭にデジタル機器やIT機器は、再利用という考えを忘れがちだ。保守契約が切れたサーバやネットワーク機器、ストレージなどは、日本では当然のように廃棄されている。しかし、その廃棄や運搬にかか

中古サーバ利用で投資コストが10分の1になるケースも

データライブの阿部英明本部長は、終息を迎えたサーバについて、Mottainaiの考えのもとで、買い取りや再利用、延長保守というサービスと組み合わせ、新たなIT投資の最適化

目標は世界中のIT資源を最適化 日本発「Mottainai」思想で挑む

るコストは意外に大きい。次のIT投資のための予算を、廃棄・運搬コストとして、文字通り「捨てている」ことになっている。

廃棄が当たり前という考えから脱却し、買い取ってもらうとの思想に転換すれば、IT投資に必要な予算を逆に捻出することができる。

さらには、自社にこの仕組みを取り

策を3つ提案していると話す。

「開発環境など小規模システムの場合、新規のサーバではなく中古サーバを再利用することで、投資コストが10分の1くらいになります。中規模のシステムにおいては、メーカー保守が切れるサーバなどは弊社が第三者保守機関として安価な費用で請け負い、追加投資を抑えます。抑えた保守費を別の投資にもまわせます。そして、大規模なシステムでは、より高性能な新規システムに移行することが多いのですが、いきなり移行はできません。そこで弊社が、移行期間中はメーカーに代わって保守を行い、できるだけ投資を抑えるわけです」。

また、買い取りにおいてデータライブは、サーバなどを製造するメーカーが行っている買取制度とは異なり、一律の買取価格にはならない点も魅力だ。「我々は個々の機器の市場価値を判断し、よりお客様の投資に貢献できるように価値を付けてお応えしています」。

国内外から調達し、世界中のIT投資を最適化

気になるのは保守対応力や保守部品の調達力、品質面だが、データライブ

には10年以上の実績がある

同社が創業時からもっとも重要視しているのは保守サービスの全国網。中古機器ほど保守対応が重要となるためだ。同社は24時間365日、海外メーカー製だけでなく、日本製サーバにも幅広く対応するサポート体制を築いている。

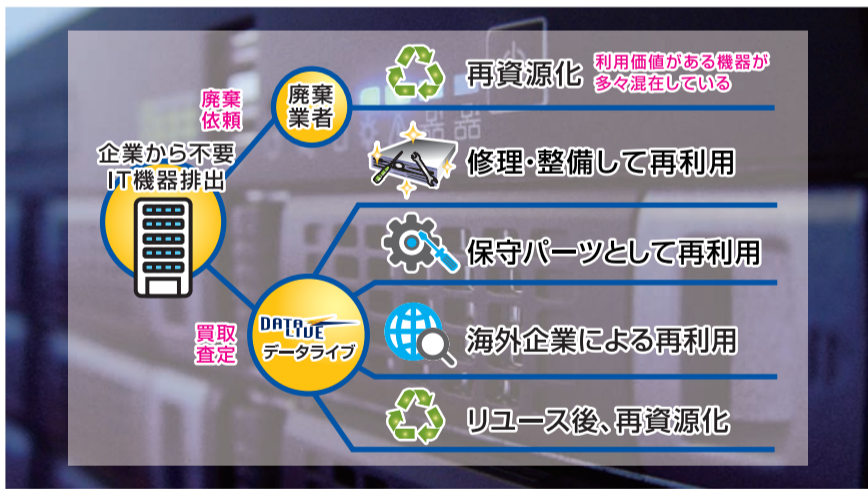
日本ではまだ中古IT機器市場は小さいが、調達力という面でも同社は保守パーツやサーバを世界中から調達するなど、メーカー保守を終えた機器であっても、顧客の要望に応じてあらゆるルートを使って入手する。

山田社長は「来期は、海外を含め数百トン単位で買い取りを進め、日本市場のIT投資にパラダイムシフトを起こしたい」と語る。

最近では、同社のリユース機器の高い品質が注目され、「ユーズド・イン・ジャパン」として、海外企業から再利用したいという要望が増えている。日本文化の「もったいない思想」を、サーバの世界に導入し、中古機器の買い取りや再利用・保守によって、「世界中のIT資源を最適化しよう」というデータライブ。

世界中のあらゆるベンダ、あらゆる機器をMottainaiという思想でハブ化する同社のチャレンジに期待したい。(清水譲治)

■ 不要サーバを買い取りに回すメリット



お問い合わせ>
データライブ株式会社
東京都文京区本郷2-38-4 本郷弓町ビル1~2階
TEL: 03-5684-5412 <http://www.dataalive.co.jp/>
リユースサーバ <http://reuseserver.net/>

サーバ・ネットワーク機器・PC買取・データ消去・回収・撤去をワンストップ対応

IT資産の有効活用をサポート

長年培ってきた中古販売のノウハウを生かし、廃棄業者やメーカー下取りよりも高価で買取

- 1 WEB・メール・電話から無料査定
- 2 高価買取には理由がある! ※素早く・正確な査定
- 3 日本全国駆けつけます! ※東京近郊は無料出張査定
- 4 1台~1000台以上もOK!
- 5 セキュリティコンプライアンス対応



データ消去・撤去
不要機器買取
のご連絡はこちら

03-5684-5413
sv@dataalive.co.jp

無料査定・お見積もり受付中

<http://www.reuseserver.net/hpgen/HPB/entries/26.html>

サーバ買取 検索



データライブ株式会社
システムを延伸稼働させる専門企業です

受付時間:平日9:00~18:00 〒113-0033 東京都文京区本郷2-38-4 本郷弓町ビル2F [HP] <http://www.dataalive.co.jp> [リユースサーバ] <http://reuseserver.net>